

本試験の聴解問題と同形式の実践問題2回分収録

27

CD **2** 枚付



耳から覚える 日本語能力試験

聴解トレーニング N1

小原亜紀子
横井 和子

3ステップで「^{ほん もの}本物の^{ちよう かい りよく}聴解力」を^{み っ}身に付ける

Step 3 → ^{じっ せん りよく}実践力

^{し けん おな けい しき もん だい と とく てん}試験と同じ形式の問題を解き得点をアップさせる

Step 2 → ^{おう よう りよく}応用力

^{き そ りよく もん だい と かた り かい み っ}基礎力をもとに「問題の解き方」を理解し身に付ける

Step 1 → ^{き そ りよく}基礎力

^{いつ れん しゅう く かえ き かた}「5つの練習」を繰り返すことで聞き方のコツをつかむ



耳から覚える 日本語能力試験
聴解トレーニング
N1

常州大学图书馆
藏书章

著者紹介：

小原亜紀子（おばら あきこ）

名古屋外国語大学日本語教育センター 講師

横井和子（よこい かずこ）

名古屋 YWCA 学院日本語学校 講師

耳から覚える 日本語能力試験聴解トレーニングN1

2011 年 8 月 2 日 初版発行

著 者 小原亜紀子・横井和子

イラスト 秋本麻衣

発行者 平本照磨

発行所 株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12

電話 03-3323-5514（日本語書籍編集部）

03-3327-1101（カスタマーサービス部）

編集・DTP 有限会社ギルド

印刷所 萩原印刷株式会社

©2011 小原亜紀子・横井和子

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取替えいたします
（定価はカバーに表示してあります）

PC：7011045

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル
「地球人マーク」です。

本書は2010年から施行されている新しい日本語能力試験の聴解問題のための練習問題集です。新試験では、以前に比べて聴解問題の種類が増え、さまざまな形式で聴解力を問われることになりました。本書では、この試験を受ける日本語学習者の方が、試験の形式に慣れ、得点を伸ばせるように練習を考えました。

本書の練習問題の中には、語彙を増やすための練習や、読んで解く問題もあり、聴解の練習ではないように思われるかもしれませんが、それらは基礎的な力を養うための練習です。聴解といっても、日本語を理解することには変わりはありません。音、語彙、文型、文脈、話題に関する知識など、さまざまなヒントを活用して、話の内容を理解する活動です。そうしたヒントを効果的に使い、日本語母語話者に近い聞き方ができるように、自分の聞き方を振り返りながら練習を進めてください。

本書は、日本語能力試験の聴解問題に対応した構成となっていますが、上記のとおり、聴解力を伸ばすための基礎的な力を養うことを目標としています。ですから、試験対策としてだけでなく、ふだんの聴解の授業や、自宅で聴解練習をしたい方にも使用していただける内容となっています。

ほんしょ

● 本書の特長

1) 本書は、日本語能力試験の問題に合わせて、ユニットを構成しています。

- Unit 01 課題理解
- Unit 02 ポイント理解
- Unit 03 概要理解
- Unit 04 即時応答
- Unit 05 統合理解

2) 本書は、基礎的な力をつける練習から始めて、徐々に本試験の問題に近い形式で練習できるように構成してあります。

Step 1 基礎的な力をつける 【練習】



各問題を解くために必要な力をつける練習です。「音の聞き取り」「聴解のための語彙・表現」「予測」「話者の心情を理解する」「情報の整理」の五つの練習があります。



Step 2 その章で学んだことを試してみる 【まとめの問題】

各ユニットの最後にあります。実際の問題と同じ形式のものを解きます。



Step 3 試験の形式で問題を解いてみる 【実践問題】

本試験と同じ形式の問題を用意しました。問題数は本試験と異なりますが、試験に慣れるために、また試験前の力試しにやってみてください。

3) 各章の練習問題の目的は、以下の通りです。

○ Step 1 【練習】

- ①「音の聞き取り」(Unit 01・02・03)：話しことばでは語の音が一部変化することがあります。話し手の言い方によるものもありますが、ここでは母語話者の発話によく見られる音の変化を取り上げました。あまり母語話者の話を聞く機会がない人は、ここで音の変化を覚えてください。
- ②「聴解のための語彙・表現」(Unit 01・02・03・04・05)：文法や読解で勉強して知っているはずの語彙や表現も、慣れないと聞いたときに理解が難しいものです。ここでは擬音語・擬態語、外来語、漢語、敬語の四つを取り上げ、耳で聞いて理解する練習を行います。
- ③「予測」(Unit 01・02・03・05)：話を聞きながらその先を予測するのは、効率的に聞くために大切な能力です。母語では日常的にやっている聞き方ですが、外国語である日本語でこうした聞き方ができるように練習してください。
- ④「話者の心情を理解する」(Unit 02・04)：話しことばでは、ちょっとした表現やことば遣いで、相手の考えや意図がわかります。ここでは、よく使われることばや表現とそれが意味する内容を、耳で聞いて理解できるよう練習を行います。
- ⑤「情報の整理」(Unit 01・03・05)：実際の試験では問題は1度しか聞けませんから、聞き取った情報を上手にメモしながら聞く必要があります。ここでは実際の問題と同じ形式の問題を聞いて、聞くコツをつかみ、メモを上手に取る練習をします。

○ Step 2 【まとめの問題】

まとめの問題は、三段階に分かれています。

まずは自分で問題1を解いてみましょう。そのあと、スクリプトと解き方のヒントで、どこをどう聞いて考えたらいいかが確認できます。そして、もう一度、同じ形式の問題2にチャレンジしてください。

○ Step 3 【実践問題】

本試験と同じ形式の問題を2回分用意しました。本試験との問題数の比較は以下の通りです。

	N1	
	本試験	本書
課題理解	6 問	4 問
ポイント理解	7 問	4 問
概要理解	6 問	4 問
即時応答	14 問	8 問
統合理解	4 問	3 問

1) 【練習】

【練習】は、大きく、「読んで解く問題」「聞いて解く問題」に分かれています。

「読んで解く問題」は、CDに音声が入っていません。短文を読んで答えるものや、読解の内容把握の問題のようになっているものもあります。わからない部分を何度でも読むことができますから、じっくり読んで、考える練習をしてください。

「聞いて解く問題」は、CDに音声が入っているので、それを聞きながら解いてください。聞き取った語を書くもの、会話を聞いて選択肢から内容と合っているものを選ぶ問題など、さまざまです。

以下は、「予測」の問題の例です。

CDに音声は入っていません。これは、後ろの文を考える問題ですから、適切な文を作って書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

3 予測(3)

練習1 問題文を読んで、後ろに続く文を予測して書いてください。_____のことがヒントになります。

(例) 昨日の晩から一晩中、強い風と雨を降らせた台風だったが、どうやら (弱まってきたようだ)。

(1) A : 山田先生、明日から1週間アメリカに出張だって。

B : ってことは、()。

(2) 電車に乗り遅れ、雨にも降られ、楽しいはずの旅行が ()。

(3) この試験は大変難しく、合格率も低い。だからといって、()。

03

練習2 CDを聞いて、後ろに続く文を予測して書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

このマークがついている問題は、CDに音声が入っています。ここでは、CDの音声は文の途中で切れますから、その後ろに続く文を考えて書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

2) 【まとめの問題】

ここでは問題の流れを説明しています。

5 まとめの問題

課題理解問題の流れは、以下の通りです。

- ① 状況説明文と質問文を聞く。
- ② 印刷されている選択肢（文字かイラスト）を見ながら本文を聞く。
- ③ もう一度質問文を聞いて、選択肢の中から最も適切な答えを選ぶ。

この「まとめの問題」では、課題理解の問題を、実際に近い形で解く練習をしましょう。問題1は、CDを聞いて、まず自分で問題を解いてみてください。次のページにスクリプトとヒントがありますから、解き方のコツをつかみましょう。その後、問題2で、実際に問題を解いてみましょう。

01

CD1
7

問題1 この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. レストランへ行く
2. 電話で注文をする
3. お弁当を買いに行く
4. スーパーへ行く

一度問題を解いてみましょう。

問題1 スクリプトと解き方のヒント

うちで、男の人と女の人が話しています。二人はこれから何をしますか。

M: たいだい。ごめん、遅くなって。

F: 晩ごはんどうしようか。私も今帰ってきたところで、何にもできてないんだけど。

M: はくも帰りに買い物にも行けなかったし、何にもないよねえ。

F: どうか食べに行く?

M: いつもの店になっちゃいそうだね。宅配頼もうか?

F: 宅配は高い割に味がねえ……。やっぱりどこか行かない? 食べたいものない?

M: これといったものは……。じゃあ、お弁当買ってくる?

F: 今日の昼も店のお弁当だったから、それはあんまり……。ねえ、まだスーパー開いてる時間だし、何か買ってきて、冷蔵庫にあるものと合わせて何か作らない?

M: そうしようか。じゃあ、車出すよ。

二人はこれから何をしますか。

1. レストランへ行く
2. 電話で注文をする
3. お弁当を買いに行く
4. スーパーへ行く

答え [4]

問題を解いてから、スクリプトを読んでください。

解き方のポイントやヒントです。参考にして解き方を考えてください。

→ 「店」＝「レストラン」で、「いつもと同じレストランへ行くのはいや」ということです。

→ 「宅配頼もう」は「電話で注文」ということです。

→ 「高い割に味が良くない」という文が省略されています。

→ 「それ」＝「お弁当」です。「お弁当はあまり食べたくない」と言っています。

→ 「車出す」は「車で行く」ということです。「車でスーパーへ買い物に行く」ことです。

解き方がわかったところで、もう一度問題にチャレンジしましょう。

CD1
8

問題2 この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 図書館へ行く
2. 食堂へ行く
3. 吉田先生の研究室へ行く
4. 事務室へ行く

答え []

20

3) 本冊と別冊

本冊には、以上の問題のほか、CD に録音されている音声の全スクリプトを巻末に掲載しました。CD の内容を文字で確認したいときに、各問題についている CD マーク () の番号と照らし合わせて使用してください。

別冊には、解答・解答例と解説が掲載されています。問題の解答の確認や、わからなかったり間違えたりした問題の解答方法を知りたい場合に参考にしてください。

本書で勉強する方へ.....	2
本書の使い方	5
聴解試験の概要	10

Unit 01 課題理解 13

 02~08	1 音の聞き取り (1) ~ ^{はつおん} 撥音	14
	練習	
	2 聴解のための ^{ごい} 語彙・表現 (1) ~ ^{ぎおんご} 擬音語・ ^{ぎたいご} 擬態語.....	15
	練習1・練習2	
	3 ^{よそく} 予測 (1).....	16
	練習1・練習2	
	4 情報の整理 (1).....	17
	練習1・練習2	
	5 まとめの問題.....	19
	問題1・問題2	

Unit 02 ポイント理解 21

 09~17	1 音の聞き取り (2) ~ ^{そくおん} 促音	22
	練習	
	2 聴解のための ^{ごい} 語彙・表現 (2) ~外来語	23
	練習1・練習2	
	3 ^{よそく} 予測 (2).....	25
	練習1・練習2	
	4 話者の心情を考える (1).....	26
	練習1・練習2	
	5 まとめの問題.....	29
	問題1・問題2	
	<コラム> 「トップダウンとボトムアップ」	32

Unit 03 概要理解 33

 18~24	1 音の聞き取り (3) ~ ^た その他.....	34
	練習	
	2 聴解のための ^{ごい} 語彙・表現 (3) ~ ^{かんご} 漢語 (1).....	35
	練習1・練習2	
	3 ^{よそく} 予測 (3).....	37
	練習1・練習2	

4 情報の整理 (2)	38
練習 1・練習 2	
5 まとめの問題	41
問題 1・問題 2	

Unit 04 即時応答 43

 25~31	1 聴解のための語彙・表現 (4) ~敬語表現	44
	練習 1・練習 2	
	2 話者の心情を考える (2)	46
	練習 1・練習 2・練習 3	
	3 まとめの問題	47
	問題 1・問題 2	

Unit 05 統合理解 49

 32~37	1 聴解のための語彙・表現 (5) ~漢語 (2)	50
	練習 1・練習 2	
	2 予測 (4)	52
	練習 1・練習 2	
	3 情報の整理 (3)	53
	練習 1・練習 2	
	4 まとめの問題	55
	問題 1・問題 2	
	<コラム> 「母音の無声化について」	58

実践問題 59

 01~56	■ 第 1 回.....	60
	■ 第 2 回.....	68

スクリプト 77



耳から覚える 日本語能力試験

聴解トレーニング N1

本書は2010年から施行されている新しい日本語能力試験の聴解問題のための練習問題集です。新試験では、以前に比べて聴解問題の種類が増え、さまざまな形式で聴解力を問われることになりました。本書では、この試験を受ける日本語学習者の方が、試験の形式に慣れ、得点を伸ばせるように練習を考えました。

本書の練習問題の中には、語彙を増やすための練習や、読んで解く問題もあり、聴解の練習ではないように思われるかもしれませんが、それらは基礎的な力を養うための練習です。聴解といっても、日本語を理解することには変わりはありません。音、語彙、文型、文脈、話題に関する知識など、さまざまなヒントを活用して、話の内容を理解する活動です。そうしたヒントを効果的に使い、日本語母語話者に近い聞き方ができるように、自分の聞き方を振り返りながら練習を進めてください。

本書は、日本語能力試験の聴解問題に対応した構成となっていますが、上記のとおり、聴解力を伸ばすための基礎的な力を養うことを目標としています。ですから、試験対策としてだけでなく、ふだんの聴解の授業や、自宅で聴解練習をしたい方にも使用していただける内容となっています。

ほんしょ

● 本書の特長

1) 本書は、日本語能力試験の問題に合わせて、ユニットを構成しています。

- Unit 01 課題理解
- Unit 02 ポイント理解
- Unit 03 概要理解
- Unit 04 即時応答
- Unit 05 統合理解

2) 本書は、基礎的な力をつける練習から始めて、徐々に本試験の問題に近い形式で練習できるように構成してあります。

Step 1 基礎的な力をつける 【練習】



各問題を解くために必要な力をつける練習です。「音の聞き取り」「聴解のための語彙・表現」「予測」「話者の心情を理解する」「情報の整理」の五つの練習があります。



Step 2 その章で学んだことを試してみる 【まとめの問題】

各ユニットの最後にあります。実際の問題と同じ形式のものを解きます。



Step 3 試験の形式で問題を解いてみる 【実践問題】

本試験と同じ形式の問題を用意しました。問題数は本試験と異なりますが、試験に慣れるために、また試験前の力試しにやってみてください。

3) 各章の練習問題の目的は、以下の通りです。

○ Step 1 【練習】

- ①「音の聞き取り」(Unit 01・02・03)：話しことばでは語の音が一部変化することがあります。話し手の言い方によるものもありますが、ここでは母語話者の発話によく見られる音の変化を取り上げました。あまり母語話者の話を聞く機会がない人は、ここで音の変化を覚えてください。
- ②「聴解のための語彙・表現」(Unit 01・02・03・04・05)：文法や読解で勉強して知っているはずの語彙や表現も、慣れないと聞いたときに理解が難しいものです。ここでは擬音語・擬態語、外来語、漢語、敬語の四つを取り上げ、耳で聞いて理解する練習を行います。
- ③「予測」(Unit 01・02・03・05)：話を聞きながらその先を予測するのは、効率的に聞くために大切な能力です。母語では日常的にやっている聞き方ですが、外国語である日本語でこうした聞き方ができるように練習してください。
- ④「話者の心情を理解する」(Unit 02・04)：話しことばでは、ちょっとした表現やことば遣いで、相手の考えや意図がわかります。ここでは、よく使われることばや表現とそれが意味する内容を、耳で聞いて理解できるよう練習を行います。
- ⑤「情報の整理」(Unit 01・03・05)：実際の試験では問題は1度しか聞けませんから、聞き取った情報を上手にメモしながら聞く必要があります。ここでは実際の問題と同じ形式の問題を聞いて、聞くコツをつかみ、メモを上手に取る練習をします。

○ Step 2 【まとめの問題】

まとめの問題は、三段階に分かれています。

まずは自分で問題1を解いてみましょう。そのあと、スクリプトと解き方のヒントで、どこをどう聞いて考えたらいいかを確認できます。そして、もう一度、同じ形式の問題2にチャレンジしてください。

○ Step 3 【実践問題】

本試験と同じ形式の問題を2回分用意しました。本試験との問題数の比較は以下の通りです。

	N1	
	本試験	本書
課題理解	6 問	4 問
ポイント理解	7 問	4 問
概要理解	6 問	4 問
即時応答	14 問	8 問
統合理解	4 問	3 問

1) 【練習】

【練習】は、大きく、「読んで解く問題」「聞いて解く問題」に分かれています。

「読んで解く問題」は、CDに音声が入っていません。短文を読んで答えるものや、読解の内容把握の問題のようになっているものもあります。わからない部分を何度でも読むことができますから、じっくり読んで、考える練習をしてください。

「聞いて解く問題」は、CDに音声が入っているので、それを聞きながら解いてください。聞き取った語を書くもの、会話を聞いて選択肢から内容と合っているものを選ぶ問題など、さまざまです。

以下は、「予測」の問題の例です。

CDに音声は入っていません。これは、後ろの文を考える問題ですから、適切な文を作って書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

3 予測(3)

練習1 問題文を読んで、後ろに続く文を予測して書いてください。_____のことがヒントになります。

(例) 昨日の晩から一晩中、強い風と雨を降らせた台風だったが、どうやら (弱まってきたようだ)。

(1) A : 山田先生、明日から1週間アメリカに出張だって。

B : ってことは、()。 03

(2) 電車に乗り遅れ、雨にも降られ、楽しいはずの旅行が ()。

(3) この試験は大変難しく、合格率も低い。だからといって、()。

練習2 CDを聞いて、後ろに続く文を予測して書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

このマークがついている問題は、CDに音声が入っています。ここでは、CDの音声は文の途中で切れますから、その後ろに続く文を考えて書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

2) 【まとめの問題】

ここでは問題の流れを説明しています。

5 まとめの問題

課題理解問題の流れは、以下の通りです。

- ① 状況説明文と質問文を聞く。
- ② 印刷されている選択肢（文字かイラスト）を見ながら本文を聞く。
- ③ もう一度質問文を聞いて、選択肢の中から最も適切な答えを選ぶ。

この「まとめの問題」では、課題理解の問題を、実際に近い形で解く練習をしましょう。問題1は、CDを聞いて、まず自分で問題を解いてみてください。次のページにスクリプトとヒントがありますから、解き方のコツをつかみましょう。その後、問題2で、実際に問題を解いてみましょう。

01

CD1
7

問題1 この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. レストランへ行く
2. 電話で注文をする
3. お弁当を買いに行く
4. スーパーへ行く

一度問題を解いてみましょう。

問題1 スクリプトと解き方のヒント

うちで、男の人と女の人が話しています。二人はこれから何をしますか。

M: たいだい。ごめん、遅くなって。

F: 晩ごはんどうしようか。私も今帰ってきたところで、何にもできてないんだけど。

M: はくも帰りに買い物にも行けなかったし、何にもないよねえ。

F: どうか食べに行く?

M: いつもの店になっちゃいそうだね。宅配頼もうか?

F: 宅配は高い割に味がねえ……。やっぱりどこか行かない? 食べたいものない?

M: これといったものは……。じゃあ、お弁当買ってくる?

F: 今日の昼も店のお弁当だったから、それはあんまり……。ねえ、まだスーパー開いてる時間だし、何か買ってきて、冷蔵庫にあるものと合わせて何か作らない?

M: そうしようか。じゃあ、車出すよ。

二人はこれから何をしますか。

1. レストランへ行く
2. 電話で注文をする
3. お弁当を買いに行く
4. スーパーへ行く

答え [4]

問題を解いてから、スクリプトを読んでください。

解き方のポイントやヒントです。参考にして解き方を考えてください。

→ 「店」＝「レストラン」で、「いつもと同じレストランへ行くのはいや」ということです。

→ 「宅配頼もう」は「電話で注文」ということです。

→ 「高い割に味が良くない」という文が省略されています。

→ 「それ」＝「お弁当」です。「お弁当はあまり食べたくない」と言っています。

→ 「車出す」は「車で行く」ということです。「車でスーパーへ買い物に行く」ことです。

解き方がわかったところで、もう一度問題にチャレンジしましょう。

CD1
8

問題2

この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 図書館へ行く
2. 食堂へ行く
3. 吉田先生の研究室へ行く
4. 事務室へ行く

答え []

20